

2018年(平成30年)12月6日(木)

虚偽公文書作成
市部長らを告発

三島の主婦ら3人

三島市が、開いていない審査会を実施済みとする補助金支給文書を作成したとして、同市の主婦(58)ら3人が5日、当時の市産業振興部長と地域活性化戦略監の2人について虚偽有印公文書作成容

疑での告発状を三島署に提出した。同署は受理するか検討する。市は審査会を開いていないことは認めている。

問題の補助金は、2016年度に「三島市地域ブランド推進協議会」へサツマイモ商品開発などの目的で200万円支給された。告発状によると、部長らは補助金交付決定に際し、開いていない審査会を実施済み、審査員了承済みとする虚偽の「交付伺い稟議書」を作成を部下に命じ、自ら決裁したとしている。

補助金はその後、食のイベント「アモーレみしま」開催に充てられ、市は半年後につじつま合わせのため関係文書を改変している。

告発した主婦は「市は関係者の処分をしておらず、自浄作用がない」と話した。

【石川宏】